

会員の部屋

日野川の源流と流域を守る会会員を御紹介します。



会員 ふかだ あきひさ 深田 明久

近頃では、ゲンゴロウ・タガメなど田んぼの生き物やタナゴ・メダカ・ドジョウなどを目にする機会はめっきりなくなりました。用水路の変化や農薬の使用が影響しているのでしょうか。晩酌のお供だった柳川鍋は食卓から遠ざかって久しく、さびしいかぎりです。

かたや、私の家のまわりでは絶滅が危惧されるカミガモシダ・ヒロハヤブソテツ・キンラン・アカネスミレやジュウニヒトエなどの植物や、クチベニマイマイ・ヒナコミザトウムシを見かけますから、すべての生き物たちが姿を消したわけではないようです。

自然の生き物に出会う機会の一つとして若松川の自然観察があります。滝を目指して登りタチシオデ・コンロンソウ・ラショウモンカズラ・イチリンソウ・エンレイソウなどの植物を見ることができました。ようやく辿り着いた滝を見つめて一休み。いいですね、気持ちが安らぎました。滝壺に貯えられた水が支流から本流へと長い旅立ちの歌を奏でていました。流域には素晴らしいものが目白押しです。

滝の思い出のもう一つは後谷川です。友人が教えてくれた川沿いの棚田は、古人の英知が感じられる石積みもの珍しいものでした。昔は木馬道だったので狭い急峻な路を数々の滝沿いに最後まで登りつめると、棚田を一望できます。滝の流れは澄んだきれいな水で、181号線で板井原川に合流します。

滝や川の水が流れる風景は動きが生ずることで様々な表情を見せてくれます。日野川源流を訪れることの意義は源（起源・根元・物事の起こり始め）を実感でき、気持ちを新たにできることにあるのでしょうか。そこには盛り沢山の自然があります。

さて、それでは、楽しかった発見の思い出話はここまでにします。

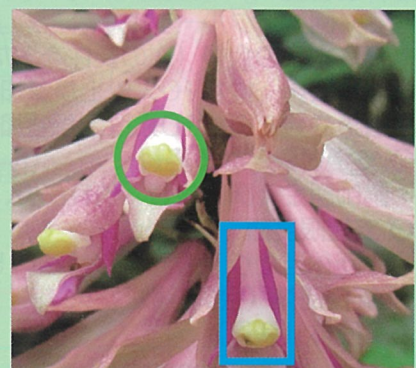
藤原自然保護監視員の植物紹介

～サイハイランが花盛り～

サイハイランは、山地の木陰に生える多年生草本です。葉の長さは15～30cm、高さは30～50cmで偏側性の花序を作って10～20個の花をつけます。萼片や花弁は細長く、淡緑褐色で紅紫色を帯びます。ずい柱□の先端には花粉塊○が4個あるのをご存知でしょうか？

花の全体が采配（サイハイ）に似ているのが和名の由来のようです。では、采配って何でしょう？厚紙を細長く切って作った総（ふさ）を木や竹につけたもので、戦場で大将が手に持ち、陣頭に立って指揮、指図をしたものだそうです。

私が「采配を振る」で思い浮かぶのは、時代劇の忠臣蔵です。吉良屋敷に討ち入る時に、大石内蔵助が「それ！」と采配を振っている場面が浮かんでくるのではないのでしょうか？そうです、これがサイハイランです。この花を見たら、ちょっと討ち入りの場面を想像してみるのも面白いかもしれませんね。



令和5年総会開催報告

新型コロナウイルスの影響で、令和3、4年と書面開催としておりましたが、約40名の会員に出席いただき3年ぶりに開催しました。

【日時】令和5年3月3日（金） 午後2時から午後3時30分まで

【場所】米子市文化ホール 1階 イベントホール



松村順史会長

開会にあたり松村順史会長より「令和4年に設立20周年を迎え、これからも活発に活動していくために、会の活動を広く知ってもらう取組に力を入れ、新規会員を増やしたい。」と今後の方針を述べられました。

つづいて、日野川フォトコンテスト2022入賞者表彰式の後、議事に移り、事務局から令和4年事業報告、決算及び監査報告、令和5年事業計画及び予算、役員改選の提案があり、原案通り承認されました。

なお、会員の方から、会の設立理念を大切に活動が続けてほしいとの御意見や、日野川の魚に目を向けるような機会を設けてはどうか、との御提案をいただきましたので、今後、取組に活かしていきたいと思っております。



議事進行の様子

議事終了後、令和4年森と水に親しむ活動支援事業を活用された日野川流域の自然と歴史を知る会と江府町立奥大山江府学園の2団体から、活動報告を行っていただきました。（活動内容の詳細は7ページをご覧ください。）

最後に矢田貝繁明幹事より、当会20年の活動を振り返ってお話しいただきました。（関連記事を3ページに掲載しております。）



矢田貝繁明幹事

令和4年収支決算

収入	1,597,922円	
支出	1,200,232円	
残額	397,690円	(残額は翌年に繰越)

令和5年収支予算

1 収入の部

(単位:円)

区分	前年予算額	本年予算額	増減	備考
繰越金	441,066	397,690	▲43,376	令和4年より繰越
会費	838,000	877,000	39,000	個人227、団体82
補助金	800,000	800,000	0	とっとり県民参加の森づくり推進事業
その他	4	4	0	預金利息等
計	2,079,070	2,074,694	▲4,376	

2 支出の部

(単位:円)

区分	前年予算額	本年予算額	増減	備考
会議費	45,000	45,000	0	総会、幹事会
事業費	870,000	870,000	0	イベント開催に要する経費
広報費	200,000	200,000	0	会報ひのがわ42・43号
助成金	300,000	300,000	0	
事務費	250,000	250,000	0	郵送料、封筒作成、用紙代ほか
予備費	414,070	409,694	▲4,376	
計	2,079,070	2,074,694	▲4,376	

令和5年森と水に親しむ活動支援事業 募集締め切り 令和5年6月30日（金）

子どもたちや流域住民の方々から日野川の源流と流域の自然環境に親しむ体験活動を支援します。詳しい情報はチラシをご覧ください。

○ 支援対象

- (1) 団体・グループ
- (2) 本会の会員（次の要件を満たす場合）
 - ・個人会員：概ね10人以上が参加する対象事業で会員の参加が全体の2分の1以上
 - ・法人会員：概ね10人以上が参加する対象事業

○ 支援対象となる経費

講師謝金、講師旅費、消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用賃借料、保険料など

○ 支援限度額

1団体あたり10万円（会員は15万円）

○ 支援団体（会員）数

2団体（会員）



令和4年森と水に親しむ活動補助金活用団体からの報告

将来を担う子どもや流域住民の方々に、様々な体験活動を通して日野川流域の森や水辺の自然環境、歴史文化などに対する理解を深める活動をされている2団体の取組を支援しました。

【日野川流域の自然と歴史を知る会】

～阿毘縁トレッキング&ノジュール群観察を地域ガイドと共に～

私たち日野川流域の自然と歴史を知る会では、令和4年の「森と水に親しむ活動」として、午前中は日南町阿毘縁地区のトレッキング、午後は多里地区のノジュール群の観察を計画しました。コロナ禍ではありましたが、おかげさまで10月8日（土）と22日（土）の2回、両日とも、雨に降られることもなく、無事開催することができました。



ノジュール

阿毘縁地区は、日野川流域の中でも菅沢ダムの上流部、印賀川の源流部にあたり、約1300年前に編纂された出雲風土記では東南道、伯耆日野堺阿志毘（あしびえ）山と記述のある地域です。また、古事記に登場するイザナギ、イザナミといった神々ゆかりの場所でもあります。秋晴れの下、歩く大菅峠から御墓山、猿隠山、砺波峠までの6kmの行程では、ツルシキミ、フシグロセンノウなどの草花、ツチグリ、ムラサキシメジ、スイドオシ（アマタケ）、ザアザ（ナラタケ）など茸類に出会いました。



フシグロセンノウ

アメダス茶屋で地元食材をふんだんに使った昼食を御馳走になった後は、多里地区の野元川岸に場所を移して、地元ガイドの方に案内いただきながらノジュール群を観察しました。ノジュールとは、化石や砂粒を中心として、石灰分が地下水の作用で固まったもので、ここのノジュールは大きいもので70cmもあり、数量、大きさ、並びなど、他には類を見ない珍しいものです。長い年月を経て、造られた自然の不思議に驚かされました。途中、子ダヌキのお出迎えも受け、和やかな雰囲気にもまれた秋の日でした。

これからも日野川流域の理解を深めるワクワクする現地学習会の機会をつくっていききたいと思います。

【江府町立奥大山江府学園】

～川の自然環境と生き物 体験学習会～

江府町では「地域とともにある学校」づくりをするコミュニティ・スクールを推進しており、子ども達の健全育成のため様々な活動をしています。

地元の川の自然環境を子ども達に知ってもらい、美しい自然を後世に残していこうという気持ちを育てることを目的に、令和4年8月27日（土）に体験学習会を行いました。川の生き物を捕まえ、皆で観察するという親子で楽しめるイベントとして企画し、8組19名が参加しました。

当日は日本ハンザキ研究所の岡田 純（おかだすみお）先生を講師にお招きし、捕まえた生き物の解説と、この身近で豊かな自然は当たり前ではないというお話もしてくださいました。

江府町内は至る所に川があり、川は身近な存在ですが「親子で川遊びをすることはあまりないのでとても良い機会でした」、「別の川にも行ってみたいです」という声が聞かれ、参加者は楽しい時間を過ごせたようです。



令和5年イベント予定

川海の繋がり体験

【予定日】 令和5年7月2日（日）
【場 所】 日吉津海岸等
【人 数】 30名

日野川一斉清掃に参加し、河口の清掃活動を行うとともに海岸の自然観察会を行います。その後、日野川水系漁協のアユ生産場を訪問し、アユの生態や生育環境について学びます。

学ぼう！遊ぼう！みんなの日野川学校

【予定日】 令和5年7月29日（土）
【場 所】 日野町カワコふれあい公園及び滝山公園
【人 数】 30名

日野川と滝山公園を学校に見立てて、子どもと大人と一緒に川遊びをします。楽しく、昆虫・魚・水生生物・植物について学びましょう。大人の単独参加も大歓迎です。

日野川源流探訪

【予定日】 令和5年9月30日（土）
【場 所】 日南町新屋周辺
【人 数】 20名

源流の碑を目指して歩く当会のメインイベントです。専門家の解説を受けながら日野川源流域の森林を探訪し、森林の機能や日野川の成り立ち等を学びます。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています。

「日野川を日本一美しい川」にするため、日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しませんか？

当会の活動に興味をお持ちの方は、入会手続きや会費などについて、事務局までお気軽に御相談ください。

【お問い合わせ方法】

- ・Eメール・ファクシミリ
常時受付・内容確認後に御連絡させていただきます。
- ・電話
月～金曜日 8:30～17:15（年末年始、祝日等除く）

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章の理念】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日

日野川流域憲章制定実行委員会